

桃山学院中学校高等学校 学校評価 2018

理事会・評議委員会報告骨子 2019.5.21

1. 学校満足度は生徒・保護者ともに非常に高い数値を示している

- (1) 学校生活に満足していますかの問いに、高校生は 84%、中学生は 92%と非常に高い数値を示している。
- (2) 保護者の数値も、「3. 子供が生き生きしている」が中学 90%、高校 92%、「4. 学校へ行くのを楽しみにしている」が中学 85%、高校 90%、「5. 学級が楽しいと言っている」が中学 85%、高校 88%といずれも高く、そのことを裏付けている。
- (3) そのことは、教員の数値、「33. 教師と生徒が信頼関係で結ばれ、教育目標に向けて互いに生き生きと活動している」が 93%、「34. 保護者との連絡、連携をとり、相互の信頼関係を大切にして生徒指導に当たっている」が 94%という教職員の自己評価とも一致している。

2. 自由な校風、建学の精神は本校の根強い伝統

- (1) 「1. 入学動機」に関しては、「自分の学力に合っていたから」(高校生 25%、中学生 19%) とならんで高校生では「併願校だから」が 29%、「自由な校風や建学の精神が気に入った」が 27%、「服装が自由」が 21%と高い数値になっている。中学生では「自由な校風や建学の精神が気に入った」が 43%であり非常に高い数値を示している。
- (2) 保護者の数値も、「1. 建学の精神を理解している」が中学 94%、高校 91%、「2. 子どもは建学の精神を理解していると思う」が中学 88%、高校 91%と高い数値となっている。
- (3) 教職員の数値も、「2. 建学の精神は日常の教育活動に浸透している」が 84%、「3. 建学の精神は生徒保護者に十分理解が図られている」が 83%となっている。

3. 授業力、進路指導力に対する期待の高さと教員の自己研鑽

授業力、進路指導力に関しては、高い数値を示しているとは言うものの、相対的には厳しい評価を示しており、生徒・保護者の関心や期待の高さを表している(高校生「6. 授業に満足」85%、保護者「6. 授業が楽しくわかりやすいと言っている」中学 71%、高校 82%)「10. 学習内容や進度が適切」中学 67%、高校 79%、「19. 進路に関して適切な情報提供を行っている」中学 81%、高校 85%)。これは教職員の自己評価も一致している。

4. その他全体的に 90%超の好評価 中学はクラブ活動への期待

その他、全体的に保護者の診断でも 80%後半から 90%台の好評価を得ている。

中学では、学校行事への評価は特に高い(中学生「3. 教育上プラスと考えられる点」の 1 位が学校行事 40%、保護者「22. 学校行事を楽しんでいる」95%)が、一方でクラブ活動への数値が低く(中学生「3. 教育上プラスと考えられる点」のクラブ活動 4%、保護者「25. クラブ活動は活発」65%)、期待が大きいことがうかがえる。

以上